第 30 回日本意識障害学会

7 月 29 日（金）A 会場

開会挨拶　9：25 ～ 9：30

岩渕　　聡（東邦大学医療センター大橋病院　脳神経外科）

一般口演 1　リハビリテーション 1　9：30 ～ 10：18

座長：豊田　章宏（中国労災病院　治療就労両立支援センター所長）
　　喜多村孝幸（五反田リハビリテーション病院）

O1-1　被殻出血における血種除去術後の急性期リハビリテーション効果

川﨑（かわさき）　真宏（まさひろ）（東邦大学医療センター大橋病院　リハビリテーション部）

O1-2　意識障害改善を目指した急性期リハビリテーション

進藤（しんどう）あかり（東邦大学医療センター大橋病院　リハビリテーション部）

O1-3　ボツリヌス療法と装具療法を併用した作業療法の効果
手指変形と ADL 能力の改善にボツリヌス療法が奏功した症例について

濱野（はまの）　靖子（やすこ）（岡山療護センター）

O1-4　ITB とボツリヌス治療を施行した遷延性意識障害患者に対するリハビリテーションの介入

元島多実子（もとしまたみこ）（社会医療法人中村記念病院）

O1-5　ボツリヌス療法で高度な拘縮が改善した症例

平田（ひらた）　里恵（りえ）（独立行政法人　自動車事故対策機構　岡山療護センターリハビリテーション科）

O1-6　重症頭部外傷後遺症の筋緊張の軽減に鍼治療が有用であった 1 症例

松本（まつもと）　　淳（じゅん）（中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター）

シンポジウム 1　工学からのアプローチ　－意思疎通支援－　10：20 ～ 11：55

座長：深谷　　親（日本大学医学部　脳神経外科・リハビリ科）
　　狩野　　修（東邦大学医学部内科学講座神経内科学分野）

S1-1　サイバニクスを駆使して遷延性意識障害に挑む
～ 意思疎通支援、機能改善、生活支援に向けて ～

山海（さんかい）　嘉之（よしゆき）（筑波大学　システム情報系教授／サイバニクス研究センター研究統括
／未来社会工学開発研究センターセンター長；
CYBERDYNE 株式会社 代表取締役社長／ CEO）

S1-2　重症難病患者コミュニケーション支援
意思伝達装置・入力スイッチの種類と選定について

堀込（ほりごめ）　貴嗣（たかつぐ）（ダブル技研株式会社 福祉事業部 部長）

S1-3　脳の前頭葉の血流を読み取る”新心語り”

小沢（おざわ）　邦昭（くにあき）（東洋大学　工業技術研究所）

S1-4　植込み型ブレインマシンインターフェースによる意思伝達支援

平田（ひらた）　雅之（まさゆき）（大阪大学大学院医学系研究科脳機能診断再建学）

ランチョンセミナー 1　12：00 ～ 13：00

座長：齋藤　紀彦（東邦大学医療センター大橋病院　脳神経外科）

共催：エーザイ株式会社

LS1-1　脳腫瘍とてんかんマネージメント

深見真二郎（ふかみしんじろう）（東京医科大学脳神経外科学分野　准教授）

社員総会　13：10 ～ 13：30

司会：岩渕　　聡（東邦大学医療センター大橋病院　脳神経外科）

追悼講演　13：35 ～ 14：00

座長：岩渕　　聡（東邦大学医療センター大橋病院　脳神経外科）

加藤（かとう）　庸子（ようこ）（一般社団法人日本意識障害学会　代表理事／藤田医科大学ばんたね病院　脳神経外科）

教育講演 1　14：10 ～ 14：40

座長：奥寺　　敬（富山大学附属病院　先端危機管理医学）

ES1　意識障害のイメージング

藤井（ふじい）　幸彦（ゆきひこ）（新潟大学脳研究所脳神経外科学分野）

教育講演 2　14：45 ～ 15：30

座長：篠田　　淳（中部脳リハビリテーション病院）

ES2　意識障害患者の口腔管理

阪口（さかぐち）　英夫（ひでお）（医療法人永寿会　陵北病院　副院長）

栄養セミナー　15：35 ～ 16：05

座長：城田　知己（東邦大学医療センター大橋病院　栄養士）

共催：株式会社明治

CS1　経腸栄養、困ったときの選択肢？　～開発秘話からその活用法を考える～

海野（うみの）　弘之（ひろゆき）（株式会社明治　グローバルニュートリション事業本部　ニュートリション開発部　開発2G　グループ長）

シンポジウム 2　遷延性意識障害の看護　16：10 ～ 17：10

座長：日高紀久江（筑波大学医学医療系）
早坂たけみ（一般財団法人広南会　広南病院）

S2-1　胃切除後の高齢遷延性意識障害患者への胃瘻と栄養管理の試み
- 食べたいによりそう -

半田（はんだ）　澄江（すみえ）（一般財団法人広南会　広南病院　東北療護センター　看護部）

S2-2　嗅覚刺激が嚥下機能の向上に繋がった 1 例
～経鼻栄養から経皮経食道胃管栄養に変更後～

隅岡（すみおか）　えり（一般社団法人　永頼会　松山市民病院　看護部）

S2-3　遷延性意識障害患者の誤嚥性肺炎に対する経皮的スコポラミンクリームの経時的評価

八巻（やまき）　智洋（ともひろ）（千葉療護センター　脳神経外科）

S2-4　排尿自立に至った脳卒中患者に対して急性期から背面解放座位を実施した症例検討

大和（やまと）　由季（ゆき）（東邦大学医療センター大橋病院　看護部）

S2-5　遷延性意識障害患者の覚醒状態改善に向けた取り組みに対する一考察

横井（よこい）　有貴（ゆうき）（藤田医科大学病院　看護部　意識障害回復センター）

S2-6　オープンフロアにおける新型コロナウイルス感染対策を振り返って

土屋（つちや）　郁恵（いくえ）（中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター　看護部）

一般口演５　看護の取り組み　17：15～18：05

座長：岸部　友美（自動車事故対策機構　千葉療護センター）
日高　艶子（聖マリア学院大学看護学部 / 聖マリア学院大学大学院看護学研究科）

O5-1　記憶障害が脱抑制を助長させている高次脳機能障害患者への関わりの一例

両澤（りょうざわ）　明李（あかり）（社会医療法人医仁会中村記念病院）

O5-2　ポジショニングケアに関する看護師の意識調査 ～統一したケアを行うためには～

松田（まつだ）　絵美（えみ）（社会医療法人医仁会　中村記念南病院　５階病棟）

O5-3　遷延性意識障害の失禁からの離脱への取り組み ～サインをキャッチし有効利用する～

馬場（ばば）　育美（いくみ）（一般財団法人広南会　広南病院　東北療護センター　看護部）

O5-4　頭部外傷後遷延性意識障害患者の糸状角膜炎の改善事例 － レバミピド点眼とプロペト塗布併用 －

櫛本（くしもと）　則子（のりこ）（自動車事故対策機構岡山療護センター　看護部）

O5-5　脳卒中後在宅療養中の高齢患者に対し、医科歯科連携により経口摂取を再開するための準備ができた一例

菊池香乃子（きくちかのこ）（東邦大学医療センター大橋病院）

O5-6　当院における脳卒中患者に対する排尿ケアの実際

稲毛（いなげ）　直子（なおこ）（東邦大学医療センター大橋病院　看護部
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師）

第 30 回日本意識障害学会

7 月 29 日（金）B 会場

一般口演 2　脳腫瘍・その他　9：30 ～ 10：10

座長：周郷　延雄（東邦大学医学部医学科脳神経外科学講座（大森））
　　三宅　啓介（香川大学医学部　脳神経外科）

O2-1　両側前頭葉膠芽腫における術後軽度意識障害、高次脳機能、と ADL 能力の特徴

角田（かくた）　明子（あきこ）（東京女子医科大学　リハビリテーション部）

O2-2　悪性神経膠腫患者終末期の臨床病理学的検討

平井（ひらい）　希（のぞみ）（東邦大学医療センター大橋病院　脳神経外科）

O2-3　脳損傷後長期残存しやすい Ongoing reality を含む日付情報の想起障害について

仁木（にき）　千晴（ちはる）（東京女子医科大学　先端生命医科学研究所）

O2-4　発作性交感神経過活動に上腸間膜動脈症候群を併発し治療に難渋した 1 症例

本田（ほんだ）　千穂（ちほ）（岡山療護センター　脳神経外科）

O2-5　神経内視鏡により嚢胞解放術を行った症候性松果体嚢胞の 1 例

松崎（まつざき）　遼（りょう）（東邦大学医学部医学科脳神経外科学講座（大森））

ランチョンセミナー 2　12：00 ～ 13：00

座長：林　盛人（東邦大学医療センター大橋病院　脳神経外科講師）
共催：日本ストライカー株式会社

LS2-1　チームで挑む Mechanical Thrombectomy

和出（わで）　南（みなみ）（社会医療法人財団石心会　川崎幸病院　脳神経外科診療看護師）
壷井（つぼい）　祥史（よしふみ）（社会医療法人財団石心会　川崎幸病院　脳血管センター長／脳神経外科主任部長）

LS2-2　チームで使いこなす Total Stroke Solutions

竹内（たけうち）　昌孝（まさたか）（医療法人財団報徳会　西湘病院　脳神経外科　部長）

一般口演３　支援デバイス　15：35～16：15

座長：井川　房夫（島根県立中央病院　脳神経外科）
　　大沢　愛子（国立長寿医療研究センター　健康長寿支援ロボットセンター　認知行動科学研究室）

O3-1　重症頭部外傷に伴う嚥下障害に対する干渉電流型低周波治療器の評価

伊東（いとう）　大祐（だいすけ）（千葉療護センター　脳神経外科）

O3-2　全盲を呈した頭部外傷症例に対するAIスピーカーの活用

大鹿糠（おおかぬか）　徹（とおる）（広南病院　東北療護センター　リハビリテーション科）

O3-3　頭部外傷例に対する将来的なコミュニケーションツールの構築に向けた取り組み

鈴木（すずき）　宏美（ひろみ）（広南病院・東北療護センター　リハビリテーション科）

O3-4　遷延性植物状態の重症脳損傷患者の中からCognitive Motor Dissociation 患者を見つける

奥田（おくだ）　篤行（あつゆき）（全国遷延性意識障害者・家族の会）

一般口演４　リハビリテーション２　16：20～17：10

座長：栗栖　薫（中国労災病院）
　　村石　健治（広南病院東北療護センター）

O4-1　脳内身体表現に着目し，上肢機能向上を図った頭部外傷後，遷延性意識障害の一例

日置（ひおき）　麗加（れいか）（中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター）

O4-2　患者の訴えを優先することで易怒性が軽減しリハへの取り組みが容易となった重度高次脳機能障害の一例

安藤（あんどう）　梨生（りお）（中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター）

O4-3　約束事項の明文化が脱抑制の改善に繋がった重度高次脳機能障害の一例

盛口（もりぐち）　晴海（はるみ）（中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター）

O4-4　頭部外傷後遅発的に遂行機能障害を呈した症例

日高可奈子（ひだかかなこ）（日本医科大学武蔵小杉病院　リハビリテーション室）

O4-5　在宅療養重度遷延性意識障害患者に対する訪問リハビリテーションの「積極的な歩行トレーニング」と訪問看護を中心とした「生活行動再学習プログラム」の併用効果

武藤（むとう）　友和（ともかず）（Home Visit Rehabilitation Lab）

O4-6　在宅生活を送る遷延性意識障害者・児の家族のレスパイトについて：アンケート「自由記述」欄の計量テキスト分析による検討

大西（おおにし）　久男（ひさお）（大阪公立大学　大学院リハビリテーション学研究科）